



草 笛

教育目標

～生氣広野に充ちる北の大地に立ち～

1. 考えを深め表現・創造する人間
2. 心豊かに思いやりを実践する人間
3. 自らをきたえたくましく生きる人間

帯広市立帯広第七中学校 学校だより

No.6 令和元年6月27日発行

学びに向かう力(意欲)を育む

校長 小玉 功

部活動にしても学習にしても、「意欲」はとても大事な要素です。意欲がなければ、基礎的な知識や技能の習得や、応用力・創造力の育成は図れません。一方で、基礎的知識・技能の習得や応用力の育成が進むことにより、子どもたちが「わかった」「できた」と実感すれば、意欲は向上します。

仙台市では、東北大学の研究グループ、小中学校の校長、教育委員会の代表が研究チームを構成して、子どもたちの可能性を広げるために、学習意欲の「素」になっているものについて科学的研究を行いました。その分析結果が興味深いので、今回はそれを紹介します。

「役立つ勉強だけ」、「叱られるから」、「みんながするから」といった考えを持っている子どもは、望ましくない学習傾向が見られました。一方、「好きな授業がある」「新しいことを覚えるのは楽しい」、「よい成績だとみんなにすごいと思われるので頑張る」といった考えを持っている子どもは、望ましい学習傾向が見られました。あらためて、子どもたちが「わかった。できた。もっと知りたい。もっとできるようになりたい。」と実感できる、意欲を育む授業を、先生たちが今後しっかりと創っていかなくてはならないと思いました。

生活習慣や学習習慣に目を向けると、「朝食を食べない子ども」、「宿題をしない子ども」、「学校に持っていくものを前の日かその日の朝に確かめていない子ども」は、望ましくない学習傾向が見られました。また、スマホやゲーム等に関しては、長時間使用が学力や学習意欲に悪影響を与えることが明らかでした。しかし、スマホやゲーム等をまったくやらない子どもたちよりも、使用時間を1時間未満に抑えている子どもたちの方が、望ましい学習傾向が見られました。これは、「1時間未満に抑える」という自己管理能力にも関係しているようです。この他にも、10分でも読書をする子ども、自分が好き・友だちから認められていると感じている子どもは、望ましい学習傾向にあるようです。こうした科学的な分析は、学校や家庭に大きな示唆を与えてくれています。

さて、今年度の教育活動を前半をふりかえり、評価する時期となりました。来週、生徒・保護者アンケートを実施し、それを参考に前期の学校評価を行います。社会に出る力を身に付けた自立した生徒の育成、そしてよりよい学校にしていくため、皆様のご協力をお願いいたします。

七中生の努力と活躍!

◆全十勝中学校春季バレーボール大会(6月15・16日)

1回戦
七中 [15-25 / 4-25] 西陵中

◆全十勝春季ソフトテニス大会(6月15日)

男子個人戦
1回戦敗退 ペア ベスト8 ペア
2回戦敗退 ペア 第3位 ペア

春の大会の全日程が終了しました。いよいよ29・30日の市中体連です。どの部活の選手も、これまでの練習の成果をすべてを出し尽くして、全力で競技に向かう姿を期待しています。頑張れ!七中生!

中体連壮行会

26日(水)、中体連壮行会を行いました。各部の主将、あすなる学級のさんから力強い決意表明のあと、1年生男子7人の七中応援団が、選手たちに力強いエールを送ってくれました。短い練習期間にもかかわらず、とても完成度の高い応援でした。「先輩たち頑張ってください!」という気持ちで、しっかりと伝わってきました。ありがとう!



中体連プログラム

6月27日(木)特別支援学級陸上

6月29日(土)軟式野球

対 西陵中 11:00～ 帯広の森平和球場
ソフトテニス
個人戦 8:45～ 帯広の森テニスコート
バドミントン
個人戦 9:00～ 帯広第一中学校
バレーボール
対 第一中 10:00前後 緑園中学校

6月30日(日)ソフトテニス

団体戦 8:30～ 帯広の森テニスコート
バドミントン
団体戦 8:50～ 帯広第一中学校
軟式野球 11:00～
土曜日勝った場合 伏古別公園野球場
土曜日負けた場合 帯広の森平和球場
バレーボールは土曜日に決勝まで行われます。



7月行事予定



日	曜	予 定
1	月	安全確認の日
2	火	教育相談⑤
3	水	教育相談⑥ 義務教育指導監訪問
4	木	朝の集会 特支合同バス学習
5	金	
6	土	全十勝中体連(野球・テニス・バドミントン)
7	日	全十勝中体連(野球・テニス・バドミントン)
8	月	職員会議 ALT
9	火	自然体験学習(2年) 集金日
10	水	炊事遠足(1年) 集金日
11	木	集金日
12	金	スクールカウンセラー来校日
13	土	全十勝中体連(野球・テニス・バレー)
14	日	全十勝中体連(野球・テニス・バレー)
15	月	海の日
16	火	
17	水	安全確認の日 校内研修日
18	木	授業参観・懇談会 ナウマン号 学校評議員会
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	生徒会クリーン作戦
23	火	
24	水	第1学期終業式 芸術鑑賞(全校)
25	木	夏季休業(～8/20)
26	金	教職員研修講座
27	土	
28	日	
29	月	教職員研修講座
30	火	教職員研修講座
31	水	

～お知らせ～

10月からスタートする七中校区コミュニティ・スクールの説明会が次のとおり開催されます。

7月8日(月) 19:00～ トレセン

教育委員会から具体的な話が出ると思いますが、できるだけ多くの皆様にお集まりいただければと思います。よろしくお願いいたします。

経営方針

社会に出る力を身に付けた自立した人間としての
資質を「認め、支え、高め合う教育」と
「師弟同行」によって達成していく。

令和元年度 帯広第七中学校の教育

令和元年6月27日発行

情報発信号

「置き勉」を評価する

新年度から、始めた「置き勉」について、3ヵ月が経過しました。先日、その取組はどのように受け止められているのか、全家庭を対象にアンケート調査を行いました。お忙しい中、調査にご協力いただきました保護者の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。今回は、その結果についてお知らせします。

調査期間 令和元年5月25日～6月7日
調査対象 本校生徒の保護者
回収率 82%

1 平日に家庭学習に取り組んでいる生徒の割合

88%（1年生100% 2年生87% 3年生81%）

2 平日の家庭学習の平均時間

1年生	男子	37分	女子	64分
2年生	男子	63分	女子	65分
3年生	男子	46分	女子	63分

3 平日の家庭学習の内容

宿題、復習、好きな教科の問題を解く、漢字練習
苦手や自信のない教科の問題、購入した問題集
予習、塾の宿題、ノートを書き、自主学習、進研ゼミ
学校のワーク、教科書の朗読や書き取り、タブレット学習
など

4 土日など休日に家庭学習に取り組んでいる生徒の割合

78%（1年生100% 2年生80% 3年生62%）

5 休日の家庭学習の平均時間

1年生	男子	43分	女子	74分
2年生	男子	50分	女子	80分
3年生	男子	52分	女子	75分

6 休日の家庭学習の内容

平日の家庭学習の内容とほぼ同じ内容でした。

7 置き勉に対する保護者の意見・感想

- 登下校の負担が減って、親として安心です。
- 自分で調整しながら置いてきたりしているので、荷物が少し軽くなってよかったと思う。
- 本人が自分で考え、判断して置いてくるならよい。
- 家庭学習に差し支えはない。
- △毎日持ち帰り、本当に必要な物を持っていけばよい。
- △賛成ですが、慎重な性格のため、毎日持ち帰っています。
- ◆本人が自ら必要だと思わないのなら、周りが何を言ってもダメなので、教科書をどこに置いてもかまわない。

8 実態調査を受けて

本校では、この取組を継続します。

理由

- ① 教科書や教材等を学校に置いて下校しても、8割を超える生徒が自分で考えて、家庭学習を行っている実態がある。
- ② 保護者の多くが、子どもの置き勉による登下校の負担軽減を喜んでいる。
- ③ 置き勉によって、子どもが自分で考えるという主体性や自立につながっていると多くの保護者は捉えている。
- ④ 学校で、置き勉による紛失やいたずらなどの事故が一件も起きていない。

一方、課題も見えています。

課題

家庭学習への意識をさらに高める必要がある。

※勉強道具を持ち帰ることと家庭学習をやる・やらないは別の問題ですが、家庭学習をやらない生徒がいるのは残念であり、その解消が課題と考えます。

解決に向けた方策

①教育相談と一緒に考える。

中間テスト終了後、24日から教育相談が始まっています。学校生活に関すること、学習に関すること、友人関係、家族のこと、進路のことなど、生徒の声に担任がしっかりと耳を傾け、解決が必要なものについては一緒にその解決策を考えていきます。

②教科オリエンテーション資料にもう一度目を通し行動する。

年度はじめの最初の授業で各教科の先生が資料を使ってオリエンテーションを行っています。どんな中身かという

- その教科を学ぶ目的（何のために学ぶのか）
- 授業のおよその内容（何を学ぶか）
- 授業の方法（どのように学ぶか）
- 授業中の約束事
- 授業に使うもの
- 評価の内容と方法
- ノートのとり方や使い方
- 家庭学習の例

などについて書かれています。

生徒が主体的に学んでいく上で一番大切なことは、学んだことを通して何ができるようになるのかが、ちゃんとわかる（見通しをもてる）ことだと考えます。

七中では、授業の一番はじめの時間にすべての教科で資料をもとに説明しています。もし、その時のオリエンテーション資料をなくしてしまったという生徒がいたら、多少叱られることを覚悟して、教科担任の先生にお願いし、再発行してもらおうといいと思います。先生方は、必ず再発行し、適切なアドバイスをくれると思います。

中学校は、自分の未来の出発点です。自分がどうするか答えはいつも自分の手の中にあります。